

税を知り、未来をつくる

甲斐市立玉幡中学校3年 勝村 陽葉

ロシアによるウクライナ侵攻や円安ドル高などの影響を受け、物価の高騰が止まらない日本。この苦しい状況はいつまで続くのだろうか。見えない終わりに不安を募らせている。

税について知ることから始めた私は、父に税の事を聞いてみた。私も普段払っている消費税をはじめ、相続税、酒税などたくさん種類があることにまず驚いた。その中でも私は、ガソリン税がとてもしんどくなった。私が住んでいる山梨県では、電車やバスなどの交通機関より車の方が利用されている。ガソリンは身近なものであり、私たちにとって必要不可欠なものでもある。このガソリンは、ガソリン税の他に消費税も課されている。いわゆる「二重課税」だ。これにより、私たちはガソリン代の約半分は税金を払っていることになる。その事実を知らなかった私は、「そんな事していいのか」、「このままだとガソリン代の高騰プラス消費税で、消費者の負担がどんどん大きくなってしまおう」と二重課税は無い方が良くと思った。でも、今もこうして続いているのを見ると、どこか納得している部分もあるのかなと感じる。この税は確かに大きな負担になりかねないが、少なからず暮らしの支えになっていることも事実だ。

日本には無い資源だからこそ、今回のロシアによるウクライナ侵攻の影響も受けやすい。ロシアは、世界の主要石油輸出国であり、アメリカやEU加盟国が経済制裁した大きな理由になっている。また、世界的にまん延していた新型コロナウイルス感染予防の制限が今後さらに緩和されるにつれ、ガソリン需要は高まり、価格高騰は避けられないだろう。

このまま物価の高騰は抑えられず進んでいってしまうのだろうか。私は家族と車でドライブしたり、遠くへ旅行したり、お出かけしておいしいものを食べるのが好きだ。父の運転で私は助手席に座って好きな曲をかけて熱唱する。そんな日常の幸せを感じにくくなってしまふのは嫌だ。だからこそ、日本の政治や税制に目を向け、関心を持っていくことが大切なのだと思う。この前行われた参議院選挙。投票して満足していないだろうか。選挙はゴールではなくスタートだ。国民によって選ばれた人が日本の未来をいいものへ、税についても改善する基盤をつくってくれるはずだ。私たちは、それが機能するように関わり、考え、行動していくべきだと思う。

未来をつくっていくのは国の偉い人たちだけではなく、紛れもない日本国民一人一人なのだ。任せて終わり、無関心、知ろうとしないなんてことがない世の中へとみんなの意識が変わって欲しいと思う。自分の行動が誰かを、日本を、自分を巡り巡って支えていく、そんな税の使い道になって欲しい。